

青い山脈

令和4年3月15日 第77号



発行：北安曇郡池田町大字池田1942-1
特別養護老人ホーム高瀬荘 青い山脈編集委員会
TEL: 0261-62-4181 FAX: 0261-62-6119
URL: <http://www.takasesou.jp>
E-mail: yorisou@takasesou.jp

大北社会福祉事業協会



秋の外出





特別養護老人ホーム 高瀬荘基本理念

利用者の意思を尊重し、共に生きる場として安心して生活できる施設づくりに努めます。

基本指針（行動目標）

- ・ 私たちは介護に携わる者として、人間性を磨くとともに、知識と技術の習得に努めます。

- ・ 私たちは、サービスの質の向上を図り、利用者・家族が満足するサービスの提供に努めます。

- ・ 私たちは、地域や家族との結びつきを大事にし、利用者にとって豊かな生活の場となるよう努めます。

- ・ 利用者の豊かな生活の場となるよう、また、共に生きる場として職員のチームワークを大切にし、職員同士が支えあう職場風土を作ります。

あの日あの時の人

ユーモアのある優しい笑顔のM様にお話を伺いました。



生まれは松川村でね、六人兄弟の四番目。一番上の兄さんは大東亜戦争で亡くなっているだ。学校卒業後は家の農業（田んぼや蚕）の手伝いをしただ。蚕の盛りは八月で桑の葉をむかなければいけなくて大変だったね。

結婚は二十二歳で十二月十四日の吉良上野介の討ち入りの日にしだた(笑)昔は収入がなかつたから結婚式もなかなかできなかつた。百姓は米や繭を出荷して、年に一回しかお金が入らなかつた。

主人は農業の他に建設業で山の砂防を造つたりしていた。子供は二人で娘と息子。

昭和四十七年から家の前に井戸を掘り、豚を七十頭位飼いはじめた。豚の種付けからお産までやり、餌をやって大きくして出荷するまで飼つただ。大変だったね。



高瀬ライオンズクラブ様

本年度もありがとうございました。

楽しみは農協の婦人部で旅行へ行つたこと。東京の劇場で杉良太郎の舞台を観たり、隅田川の舟下りに乗つたな。東北にも行って仙台の七夕祭りも見たしね。

目を患つたのは六十五歳からで両目を失明したのは三年前。慣れまるまで大変だったね。

ここでの生活は、上げ膳据え膳で皆よくしてくれるから安心して毎日過ごせているよ。

●看護師
六月から勤務し、少しづつ慣れてくれました。
利用者の方々の笑顔を励みに、これからもがんばりたいと思います。よろしくお願ひ致します。

新規職員

小野寺
迪

行事予定

6月 ふれあいレク
8月 納涼祭

※実施内容は検討中です

編集後記

面会再開も束の間、オミツロノ株感染拡大の影響で再び面会制限となり、ご家族の皆様にはご心配をおかけしております。本誌を通して皆様の笑顔や日常生活のご様子をお伝えできればと取り組んでまいりました。感染対策の日々はまだ続きますが、これからも本誌を通して皆様のご様子をお知らせしたいと思います。